

2. 住民意向の把握

(1) 意向調査の概要

農業や地域の環境について市民の意見等を伺うため、アンケート調査を実施しました。アンケート調査は、一般成人及び中学生を対象とし、調査方法はアンケート用紙配布による設問・回答方式としました。

一般成人対象者は、各地区の世帯数や男女比の割合を考慮したうえで無作為抽出を行って選定し、配布と回収は郵送で行いました。

中学一年生対象者は、1校1クラス、合計12校12クラスに一括配布し、回答後一括返送していただきました。

なお、地区割りは市内31のコミュニティセンター単位としました。

1) アンケート調査内容

アンケート調査の目的

農村環境計画策定に際して、農業や農村環境について広く地域住民の皆様の意見を聞き取り、その結果を農村環境の方向性や計画を立てる際の参考資料とすることを目的としています。

アンケート調査の対象者

アンケート調査は幅広い年齢層に対応し、さらに大人と子供の意識の比較のため、一般成人(以降成人と記載)と中学一年生(以降中学生と記載)を対象としました。

なお、配布部数は表2-62に示すとおりです。

表2-62 アンケート調査の対象者及び配布部数

対象者	配布部数
成人	1,584部
中学生	340部
計	1,924部

アンケート調査の実施期間

表2-63 アンケート調査の実施期間

対象者	調査実施期間	備考
成人	平成24年2月6日～平成24年2月17日	郵送による配布・回収
中学生	平成24年2月1日～平成24年2月17日	各学校を通じて配布・回収

アンケート調査の内容

表 2-64 アンケート調査の内容

成人		中学生	
項目	設問	項目	設問
.回答者の属性	性別、年齢、職業、 居住地域	.回答者の属性	性別、居住地域
.居住している地域	地域の自慢、 地域のイメージ、 地域の将来像	.居住している地域	地域の自慢、 過去の遊び・場所、 地域のイメージ、 地域の将来像
.農村環境の保全	保全の取り組み、 取り組みへの参加	.農村環境の保全	保全の取り組み、 取り組みへの参加
.農業や農村	農業、農地の役割、 必要な取り組み	.農業や農村	農業、農地の役割、 必要な取り組み
.関心のある 環境問題等	自由記述	.関心のある 環境問題等	自由記述

(2) アンケート調査の結果

1) アンケート調査の回収率

アンケート調査の回収率は、成人が36%、中学生が85%、全体では45%となりました。

表 2-65 アンケート調査の回収率

対象者	配布部数	回答部数	回収率
成人	1,584部	569部	36%
中学生	340部	288部	85%
計	1,924部	857部	45%

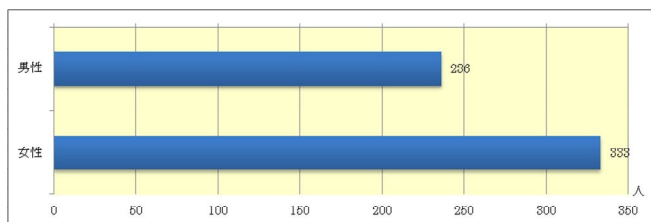
2) アンケート調査の結果

アンケート調査の結果は、各設問をグラフにまとめて次ページから掲載します。

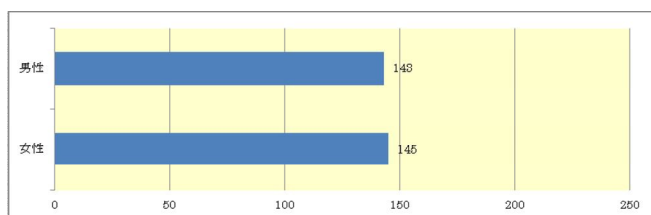
・回答者の属性

問：あなたの性別について、選んでください。

成人：問1、中学生：問1



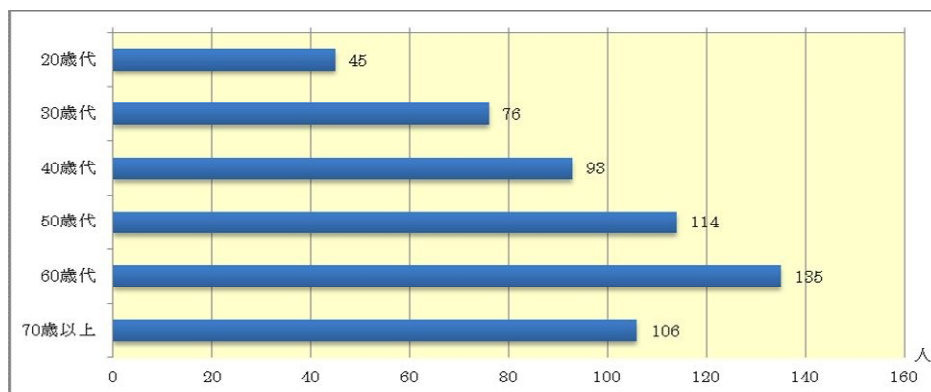
一般成人



中学生

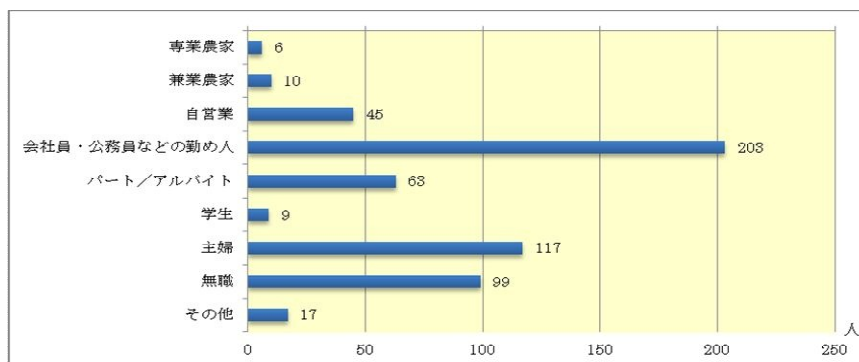
問：あなたの年齢について、選んでください。

成人：問2



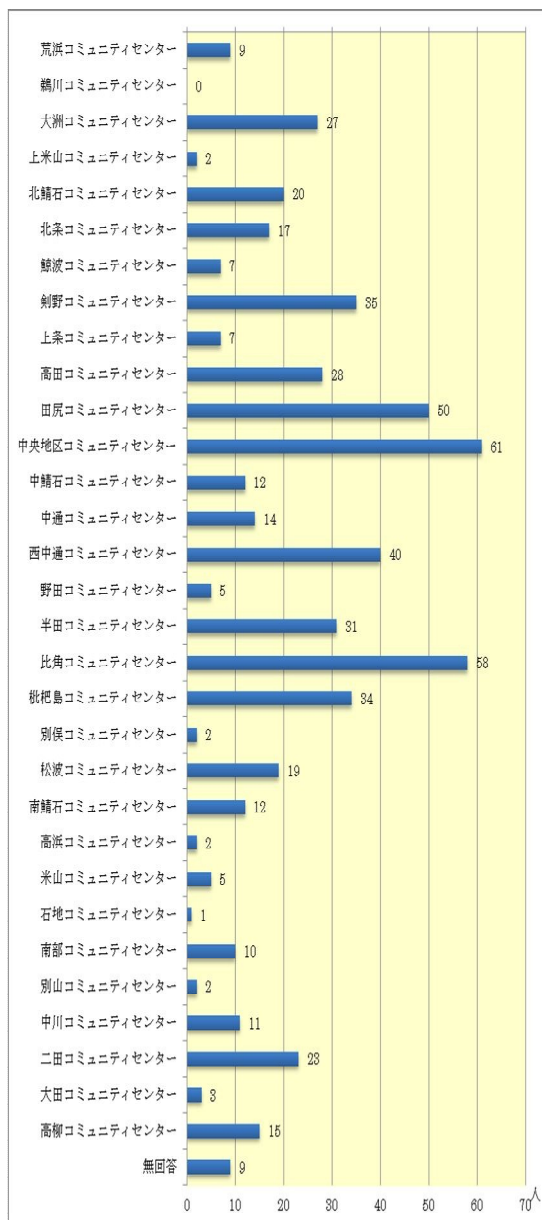
問：あなたの職業について、選んでください。

成人：問3

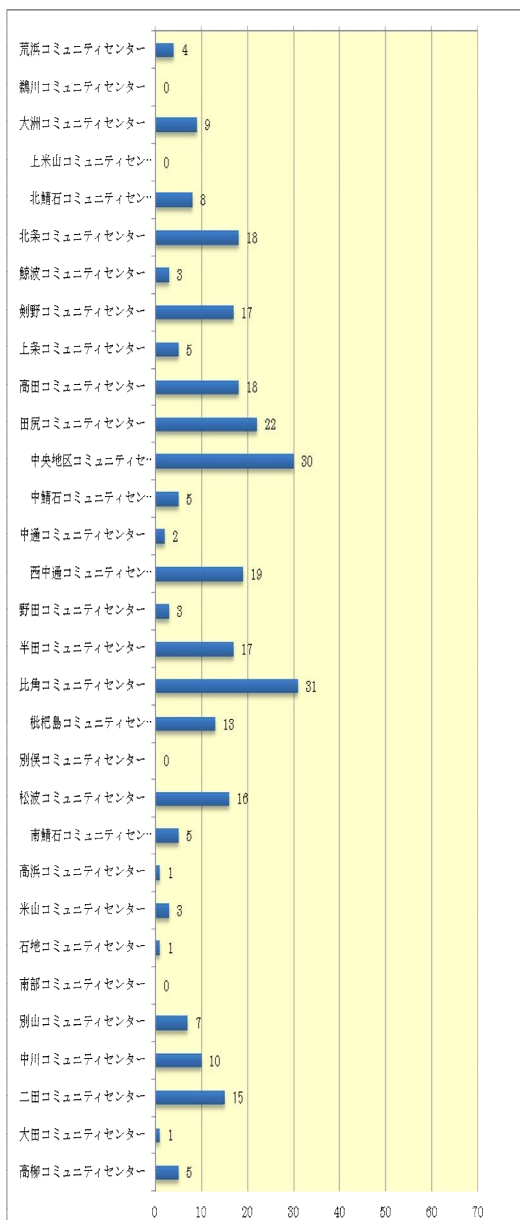


問：あなたのお住まいの地域は、次のどれに該当しますか。

成人：問4、中学生：問2



一般成人



中学一年生

問：あなたがお住まいの地域および柏崎市全体で残してほしい自然や、自慢したい場所または自慢したいこと。

成人：問5、中学生：問3

残してほしい自然や自慢したい場所

お住まいの地域

柏崎市全体

お住まいの地域で残してほしい自然や、自慢したい場所の集計結果一覧表

番号	回答項目	回答結果			
		中学生の部(人)	順位	成人の部(人)	順位
1	海(夕日、海岸線など)	17		52	2
2	山 米山 八石山 黒姫山 山(里山等)	0	18	9	51
3		7		10	
4		0		6	
5		11		26	
6	川	11		19	
7	池(白鳥が飛来する池など)	2		18	
8	水田、畑	31	3	40	4
9	公園(緑地など人工的な施設)	48	1	64	1
10	道路(歩道含む)	0		14	
11	自然(緑)	38	2	34	
12	四季(景色)	5		25	
13	小動物(ホタル、魚、コウモリなど)	3		22	
14	植物、樹木	11		31	
15	水(おいしい、きれいな)	2		4	
16	お米	0		2	
17	食べ物	2		3	
18	施設(建物)-大学、発電所、ブルボン、アクアパークなど	20	4	22	
19	施設(建物以外)-野球場、じょんのび村、かやぶきの里など	5		19	
20	神社仏閣	10		30	
21	地域(地区など)	11		18	
22	住みやすさ(すずしい、空気がおいしいなど)	3		13	
23	名所(善根の滝、大開の棚田、福浦八景など)	2		35	5
24	祭り、行事(えんま市、祇園祭りなど)	5		5	
25	花火(柏崎花火、石地花火など)	1		5	
26	芸能(綾子舞など)	0		6	
27	人間関係(人が優しい、地域の仲が良いなど)	16		6	
28	レジャー(スポーツを含む)	0		1	

順位は上位5位までとする。

柏崎市全体で残してほしい自然や、自慢したい場所の集計結果一覧表

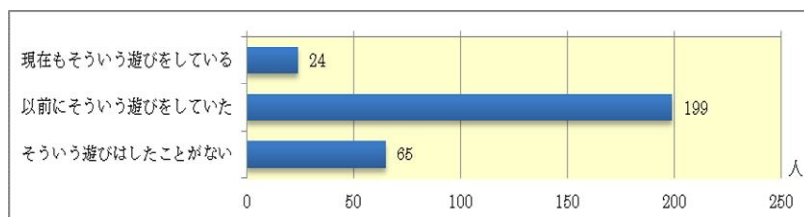
番号	回答項目	回答結果			
		中学生の部(人)	順位	成人の部(人)	順位
1	海(夕日、海岸線など)	78	1	171	1
2	山 米山 八石山 黒姫山 山(里山等)	27	49	52	121
3		3		11	
4		2		12	
5		17		46	
6	川	5		9	
7	池(白鳥が飛来する池など)	2		0	
8	水田、畑	19		20	
9	公園(緑地など人工的な施設)	20	5	53	3
10	道路(歩道含む)	0		4	
11	自然(緑)	46	3	33	5
12	四季(景色)	3		38	4
13	小動物(ホタル、魚、コウモリなど)	3		7	
14	植物、樹木	3		7	
15	水(おいしい、きれいな)	0		18	
16	お米	4		3	
17	食べ物	2		10	
18	施設(建物)-大学、発電所、ブルボン、アクアパークなど	28	4	12	
19	施設(建物以外)-野球場、じょんのび村、かやぶきの里など	2		20	
20	神社仏閣	2		9	
21	地域(地区など)	1		6	
22	住みやすさ(すずしい、空気がおいしいなど)	5		3	
23	名所(善根の滝、大開の棚田、福浦八景など)	3		21	
24	祭り、行事(えんま市、祇園祭りなど)	16		6	
25	花火(柏崎花火、石地花火など)	4		23	
26	芸能(綾子舞など)	1		8	
27	人間関係(人が優しい、地域の仲が良いなど)	5		1	
28	レジャー(スポーツを含む)	0		7	

順位は上位5位までとする。

お住まいの地域では、成人、中学生ともに「公園(緑地)」が最も多く、次いで成人は、「海」、「山」、「水田、畑」、「名所」の順に、中学生が「自然」、「水田、畑」、「施設」、「山」となりました。また、市全体では、共通して「海」、「山」の順になっています。

問：今まであなたがお住まいの地域の野外で、魚つりや虫取り、花つみなど、生き物や植物とふれあう遊びをしたことがありますか。

中学：問4



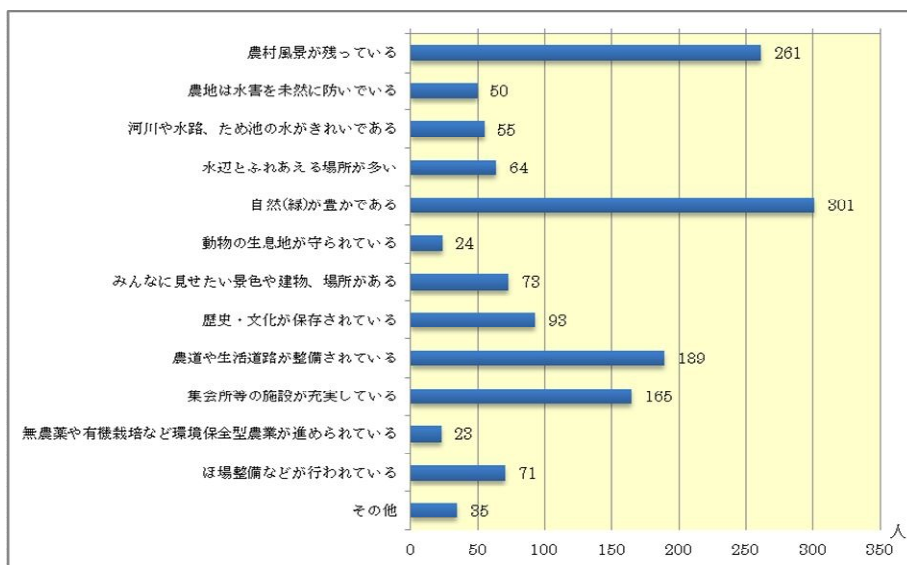
問：そういう遊びをした場所はどこですか。簡単に記入してください

中学：問5

順位	場所	件数
1	公園（夢の森公園、こども自然王国など）	66
2	川（小川を含む）	44
3	自宅周辺	39
4	海	35
5	校庭	18
6	山（森、林を含む）	15
7	神社	10
8	田畑	10
9	道端	4
10	施設（コミセンなど）	2

問：あなたがお住まいの地域の現在のイメージについて選んでください。(複数回答)

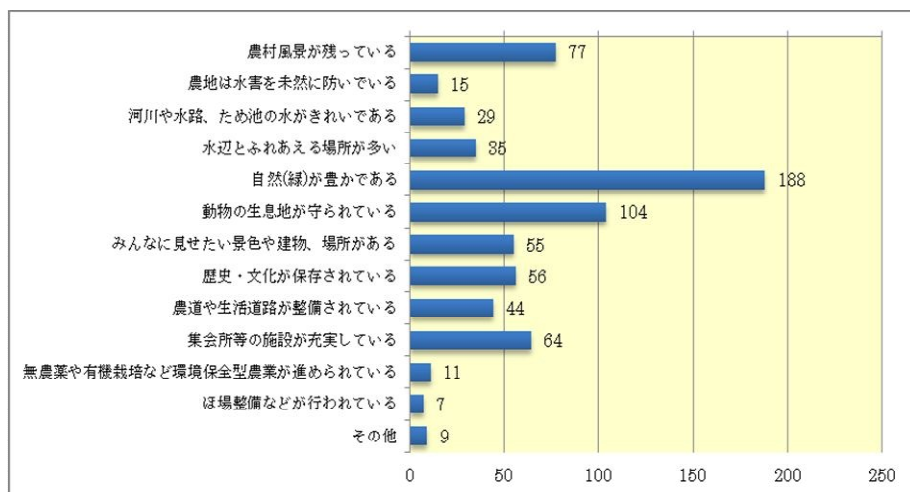
成人：問6、中学生：問6



その他の回答(設問に該当する内容)

意見	件数	意見	件数
人口の減少、高齢化が進んでいる	4	生活面で中央部との格差あり	1
荒廃地が多く農地が少ない	3	生活用道路が整備されていない	1
田舎であり不便を感じる	1	他施設の公害について不安	1
近所付き合いが良い	1	農地らしさが無い	1
降雪が多い	1	減少する農村風景	1
自然が少ない	1		

一般成人



その他の回答

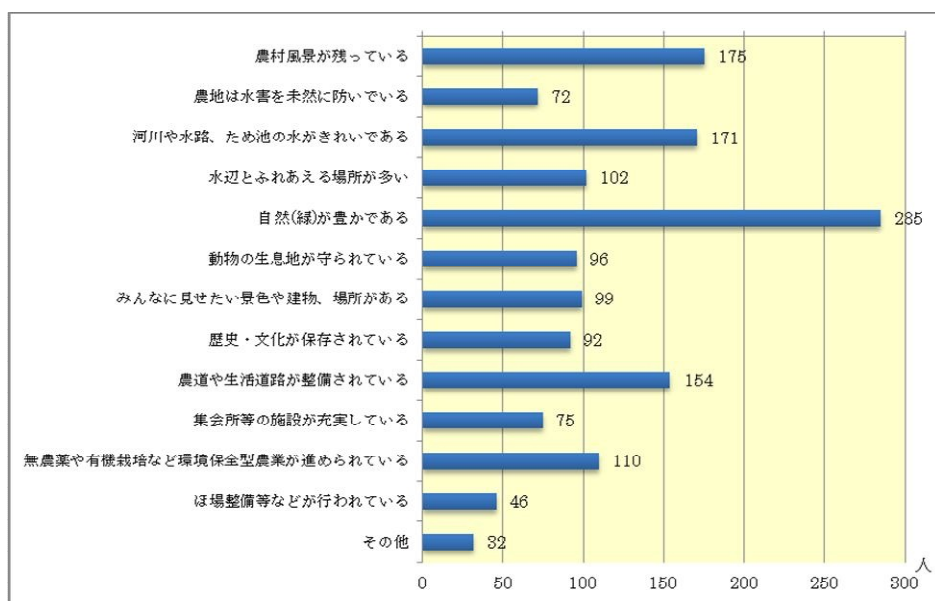
意見	件数	意見	件数
海がきれい	1	生物の生息環境がある	1
おいしいお米	1	寺がある	1
過疎化が進んでいる	1	トンボがたくさんいる	1
水田が多い	1	水がきれい	1
水田が少ない	1		

中学一年生

成人の結果は、「自然が豊か」、「農村風景が残っている」が多く、中学生は「自然が豊か」、「動物の生息地が守られている」が多いです。

問：あなたがお住まいの地域の将来のあるべき姿について選んでください。(複数回答)

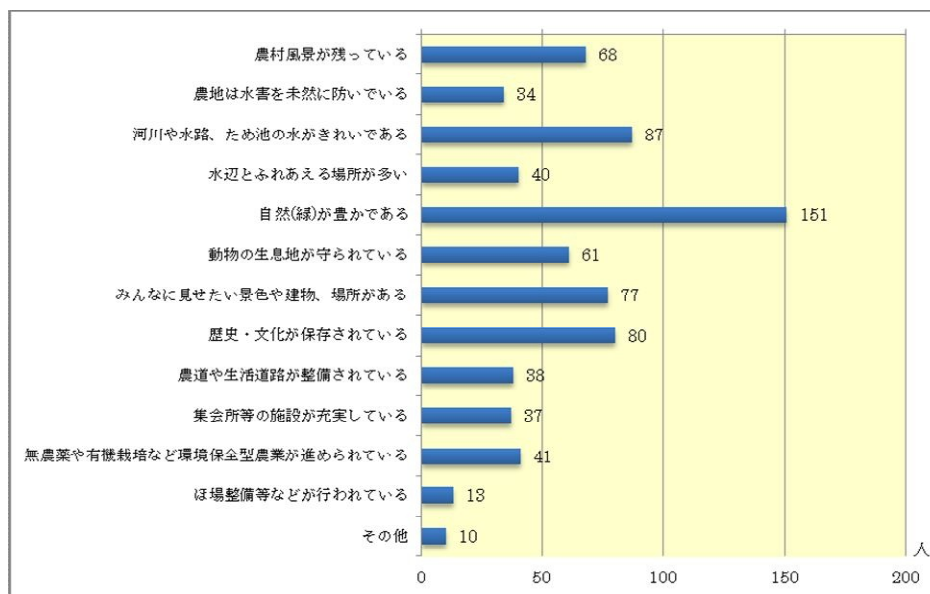
成人：問7、中学生：問7



その他の回答(設問に該当する内容)

意見	件数	意見	件数
荒廃地の活用	4	交通網の近代化	1
地産地消への流通	2	商店の充実	1
担い手不足の解消	2	農地法の見直し	1
豊かな町づくり	2	豊かな景観	1
安全な暮らし	1	高齢者の住みやすい環境整備	1
活性化	1	魚産物の活用	1
公園型果樹園	1	大区画ほ場の整備	1

一般成人

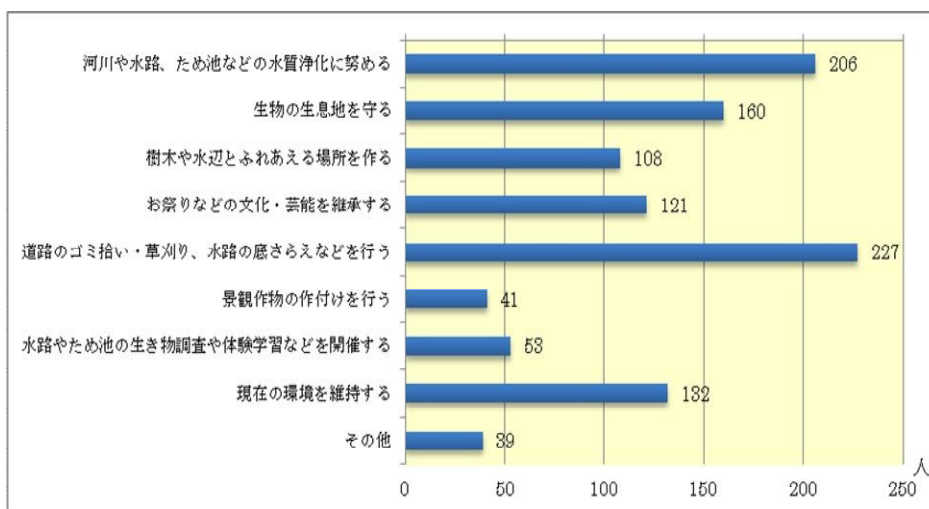


その他の回答は該当する内容ではない
 中学一年生

成人の結果は、「自然が豊か」、「農村風景が残っている」、「河川や水路、ため池の水がきれい」が多く、中学生は「自然が豊か」、「河川や水路、ため池の水がきれい」、「歴史、文化が保存されている」が多いです。

問：柏崎市の自然環境や農村環境を守っていくにはどのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答)

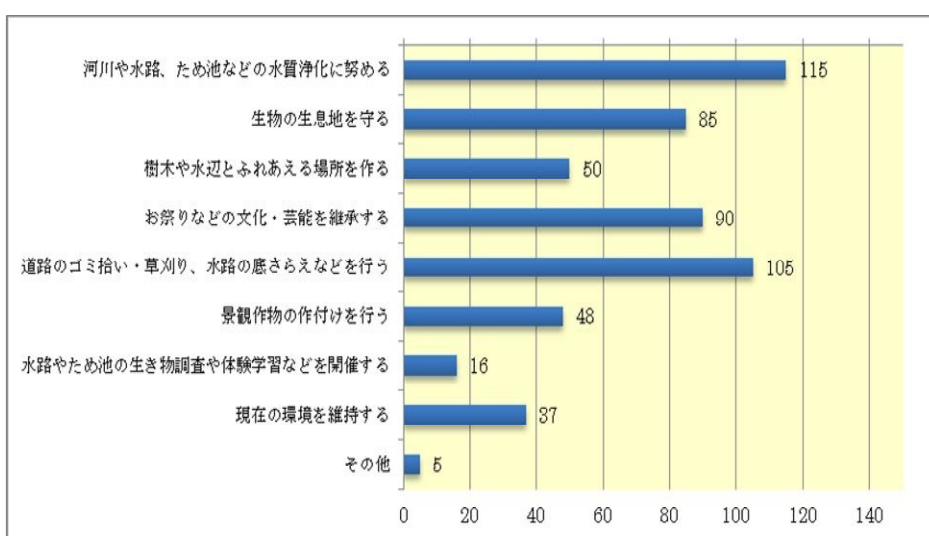
成人：問8、中学生：問8



その他の回答(設問に該当する内容)

意見	件数	意見	件数
担い手不足の解消	5	IT環境の整備	1
環境への意識の高揚	3	うるおう農家	1
自然環境の保護	3	地域の活性化	1
過疎化と高齢者からの脱却	2	都市部からの住民の永住	1
荒廃地の活用と整備	2	農地の作付面積を増やす	1
子供の教育に農業のカリキュラム	2	脱・ほ場整備	1
無農薬などを活用する環境整備	2		

一般成人



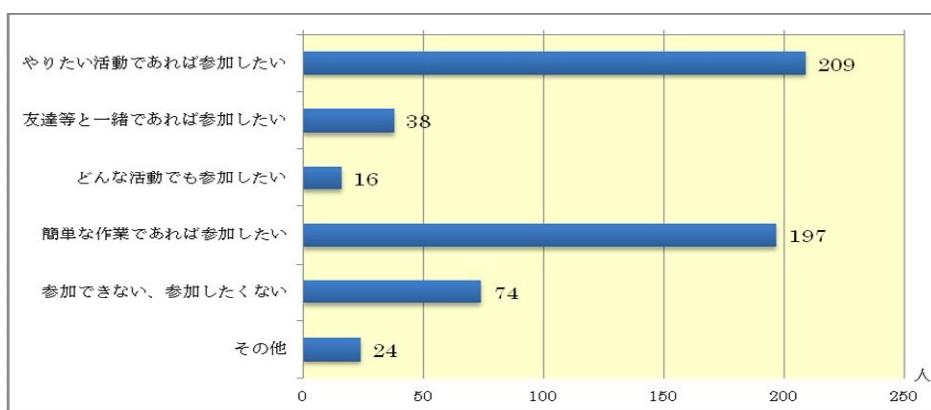
その他の回答は該当する内容ではない

中学一年生

成人、中学生ともに、「河川や水路の水質浄化」、「道路や水路の整備」に関連する項目が多かったです。

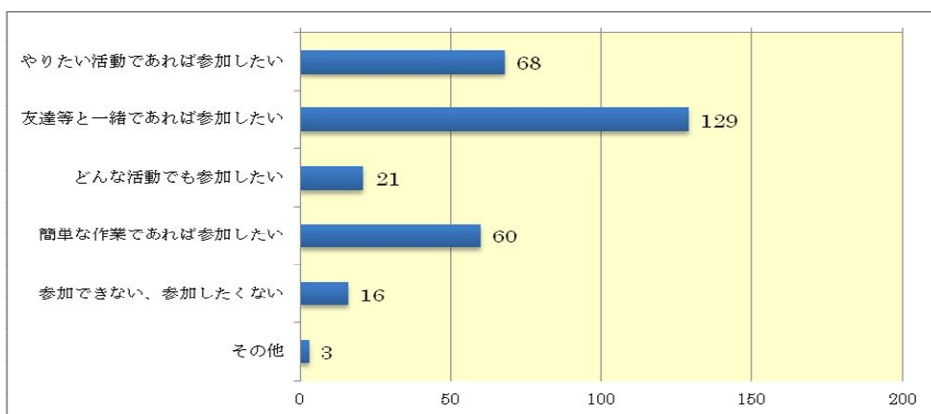
問：問8でお答えいただいた取り組みに参加しますか。

成人：問9、中学生：問9



その他の回答は該当する内容ではない

一般成人



その他の回答は該当する内容ではない

中学一年生

成人の結果は積極的な参加が多く、中学生は友人がいるとき、簡単な作業の場合に参加が多いです。

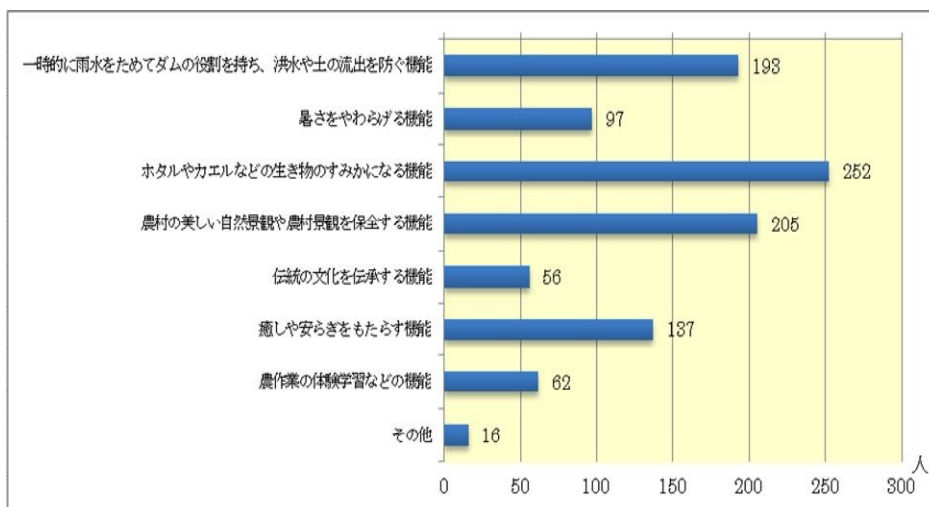
問：問9の理由をお書きください。

成人：問10、中学生：問10

問番号	番号	理由	回答結果			
			成人の部	順位	中学生の部	順位
1		自分に合う活動だから	48	1	27	1
		農村・自然環境の保全のため	33		8	
		地域貢献のため	30		18	
2		友達や子供となら楽しいから	15	1	99	1
		大勢だと作業効率がよいから	0		10	
		地域貢献のため	2		7	
3		農村・自然環境の保全のため	4		9	1
		地域貢献のため	5	1	6	
		このような活動に興味があるから	4		6	
4		農村・自然環境の保全	9		6	
		地域貢献のため	16		4	
		自分に合う活動だから	13		34	1
		高齢、体力の有無など	36	1	1	
		家事、仕事、勉強の都合など	23		3	
5		面倒、忙しい、興味がないなど	7		10	1
		家事、仕事、勉強の都合など	17		3	
		高齢、体力の有無など	25	1	0	
6		家事、仕事、勉強の都合など	5	1	0	
		経験が無い	1		2	1
		既に活動している	4		0	

問：食料生産以外で農業や農地(田んぼや水路)の役割で重要と思われる機能について選んでください。
(複数回答)

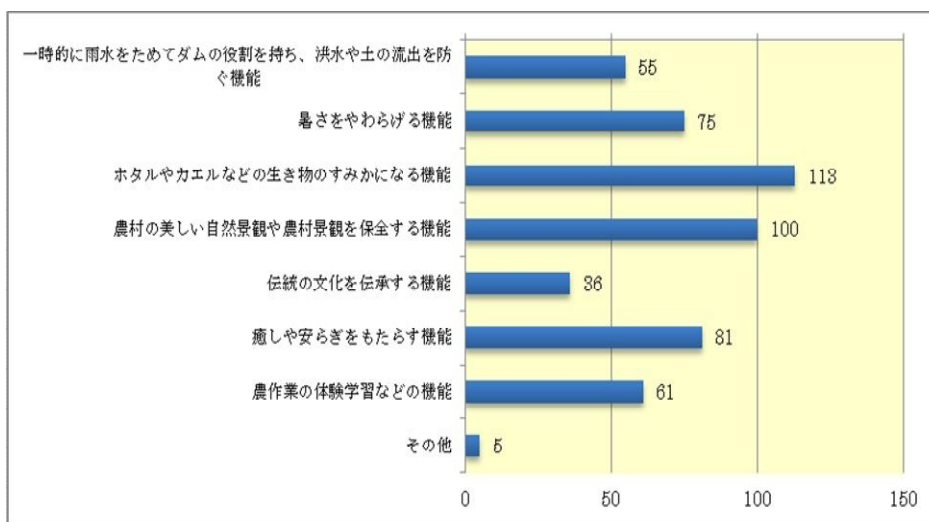
成人：問 11、中学生：問 11



その他の回答(設問に該当する内容)

意見	件数
公園型水田	3
副産物の有効利用	1
観光的な機能	1

一般成人



その他の回答は該当する内容ではない

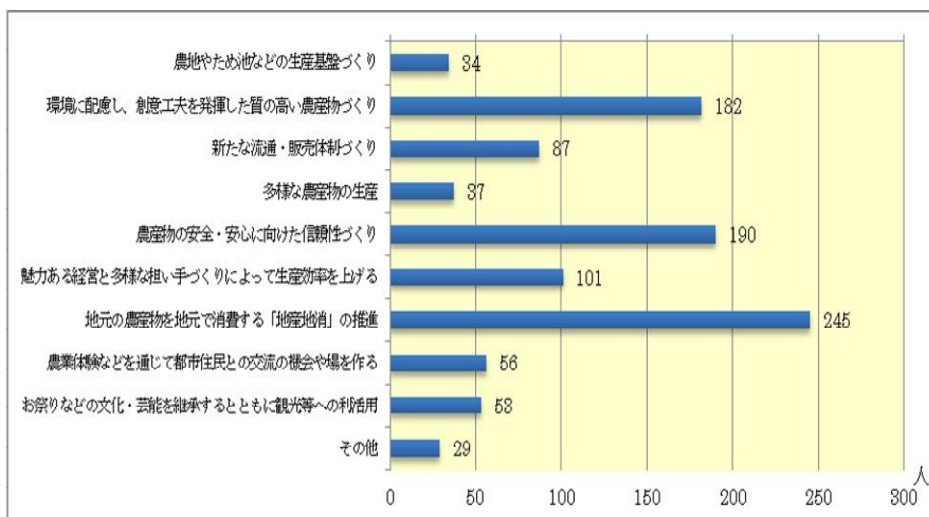
中学一年生

成人、中学生ともに、「生物のすみかになる」、「農村の自然環境、農村環境の保全」が多いです。

問：これからの農業や農村に必要な取り組みについて選んでください。(複数回答)

成人：問12、中学生：問12

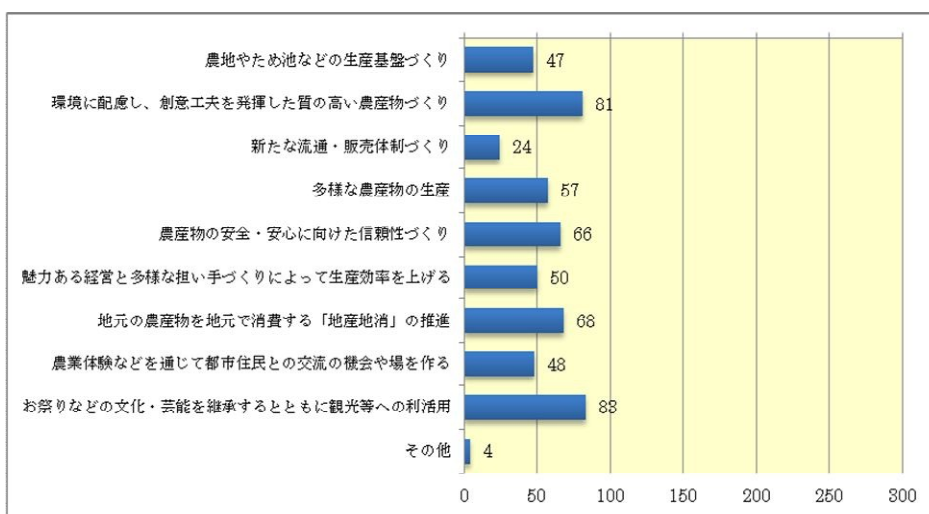
成人では、「地産地消」、「安全・安心な農業」、「質の高い農産物づくり」が多く、中学生では、「文化芸能の継承」、「質の高い農産物づくり」が多く、次いで「地産地消」、「安全・安心な農業」となっています。



その他の回答(設問に該当する内容)

意見	件数	意見	件数
担い手不足の解消	5	災害の被害を防げる環境づくり	1
無農薬や有機栽培の促進	3	農地法の改正	1
農業を会社化または法人化する	3	農業情報網の拡大	1
減税など金銭的ケアの実施	2	変形野菜などの安値販売	1
輸入米を減らす	2		

一般成人



その他の回答は該当する内容ではない

中学一年生

「アンケート調査結果のとりまとめ」

一般成人の結果から

農村の将来像として、農村らしい豊かな自然・風景などの環境整備、河川や水路・道路などの基盤整備を望んでいます。

農村環境の保全に対しても河川や水路の水質浄化、道路水路の整備が多くなっており、それらの活動にも積極的に参加する傾向がうかがえます。

これからの農業に対しての取り組みとして、地産地消、質の高い農産物づくりの他に、担い手づくり、新たな販売網の確立など、新しい農業政策が要望されています。

中学一年生の結果から

野外での魚釣りや花つみなどの動植物とのふれあう遊びの有無については、約80%の中学生が有ると回答し、公園や川などで行っています。

農村の将来像として、緑豊かな自然、河川や水路の良好な水質、歴史や文化の保存が多いです。これからの農業に対しての取り組みとして、文化芸能の継承を観光に利活用、質の高い農産物づくりについて多く、一般成人と同様に新しい農業について関心を持っていることがうかがえます。

中央部地域:旧柏崎(比角、半田、中央地区、枇杷島、剣野、大洲)、

1位 荒浜、松波、西中通、北鯖石、田尻、高田 米山地域:鯨波、米山、上米山

2位 鷓川水系地域:上条、野田、鷓川、別保 鯖石川水系地域:中通、北条、中鯖石、南鯖石

3位 西山・高浜地域:西山町(石地、大田、別山、中川、二田、南部)、高浜 高柳地域:高柳町

問6	地域のイメージ							[無回答]	合計
1	農村風景が残っている	167	6	10	38	25	11	4	261
2	農地は水害を未然に防いでいる	39	0	0	4	3	2	2	50
3	河川や水路、ため池の水がきれいである	34	4	1	7	6	3	0	55
4	水辺とふれあえる場所が多い	50	5	3	3	2	0	1	64
5	自然(緑)が豊かである	196	8	8	40	32	10	7	301
6	動物の生息地が守られている	15	1	1	3	4	0	0	24
7	みんなに見せたい景色や建物、場所がある	51	5	1	4	4	5	3	73
8	歴史・文化が保存されている	66	1	5	8	7	5	1	93
9	農道や生活道路が整備されている	149	4	2	12	17	2	3	189
10	集会所等の施設が充実している	136	1	2	7	14	2	3	165
11	無農薬や有機栽培など環境保全型農業が進められている	17	0	1	1	1	2	1	23
12	ほ場整備などが行われている	50	0	2	8	11	0	0	71

全体的には5自然(緑)が豊かである、1農村風景が残っているが多い。(中央部地域)では農道や生活道路の整備、集会所等の施設の充実も多い。

問7	将来像							[無回答]	合計
1	農村風景が残っている	121	2	4	27	13	7	1	175
2	農地は水害を未然に防いでいる	51	0	2	2	12	5	0	72
3	河川や水路、ため池の水がきれいである	126	4	2	18	15	6	0	171
4	水辺とふれあえる場所が多い	74	5	1	12	9	1	0	102
5	自然(緑)が豊かである	209	7	7	30	25	5	2	285
6	動物の生息地が守られている	78	2	1	8	5	2	0	96
7	みんなに見せたい景色や建物、場所がある	82	3	1	4	7	1	1	99
8	歴史・文化が保存されている	70	2	0	13	3	3	1	92
9	農道や生活道路が整備されている	110	5	6	14	13	5	1	154
10	集会所等の施設が充実している	55	3	1	7	7	2	0	75
11	無農薬や有機栽培など環境保全型農業が進められている	86	2	0	6	10	5	1	110
12	ほ場整備などが行われている	28	1	2	8	5	2	0	46

全体的には5自然(緑)が豊かであるが多い。(中央部地域)(鯖石川水系地域)(高柳地域)では1農村風景が残っているも多い。(中央部地域)では3河川や水路、ため池の水がきれいも多い。

問8	自然・農村環境保全の取組							[無回答]	合計
1	河川や水路、ため池などの水質浄化に努める	154	4	2	20	18	6	2	206
2	生物の生息地を守る	125	3	3	10	14	3	2	160
3	樹木や水辺とふれあえる場所を作る	80	1	5	11	6	3	2	108
4	お祭りなどの文化・芸能を継承する	80	3	2	18	13	3	2	121
5	道路のゴミ拾い・草刈り、水路の底さらえなどを行う	159	7	6	26	18	5	6	227
6	景観作物の作付けを行う	25	2	0	5	7	2	0	41
7	水路やため池の生き物調査や体験学習などを開催する	42	0	0	2	7	1	1	53
8	現在の環境を維持する	98	4	6	10	7	4	3	132

全体的には5道路のゴミ拾い・草刈り、水路の底さらえ、1河川や水路、ため池などの水質浄化に努めるが多い。(中央部地域)では生物の生息地を守るも多い。

問9	取組への参加・不参加							[無回答]	合計
1	やりたい活動であれば参加したい	149	7	4	21	19	7	2	209
2	友達等と一緒にであれば参加したい	29	0	3	2	2	2	0	38
3	どんな活動でも参加したい	11	0	0	1	3	0	1	16
4	簡単な作業であれば参加したい	146	4	6	20	14	5	2	197
5	参加できない、参加したくない	56	2	1	5	5	1	4	74

全体的に1やりたい活動であれば参加したい、4簡単な作業であれば参加したいが多い。

問11	農地の機能							[無回答]	合計
1	一時的に雨水をためてダムの役割を持ち、洪水や土の流出を防ぐ機能	137	5	5	19	20	5	2	193
2	暑さをやわらげる機能	68	3	2	10	13	1	0	97
3	ホタルやカエルなどの生き物のすみかになる機能	191	4	6	23	21	6	1	252
4	農村の美しい自然景観や農村景観を保全する機能	144	5	7	23	19	5	2	205
5	伝統の文化を伝承する機能	39	3	0	7	6	1	0	56
6	癒しや安らぎをもたらす機能	106	4	4	9	9	5	0	137
7	農作業の体験学習などの機能	52	2	0	2	6	0	0	62

全体的に3ホタルやカエルなどの生き物のすみか、4農村の美しい自然景観や農村環境の保全が多い。1防災機能の認識も高い。

問12	今後の農村農業に必要な取組							[無回答]	合計
1	農地やため池などの生産基盤づくり	22	1	2	6	2	1	0	34
2	環境に配慮し、創意工夫を發揮した質の高い農産物づくり	142	4	2	16	14	4	0	182
3	新たな流通・販売体制づくり	60	2	2	13	8	2	0	87
4	多様な農産物の生産	28	0	0	5	2	2	0	37
5	農産物の安全・安心に向けた信頼性づくり	145	8	6	13	11	5	2	190
6	魅力ある経営と多様な担い手づくりによって生産効率を上げる	68	1	2	16	10	3	1	101
7	地元の農産物を地元で消費する「地産地消」の推進	193	4	4	17	21	4	2	245
8	農業体験などを通じて都市住民との交流の機会や場を作る	41	1	1	6	3	4	0	56
9	お祭りなどの文化・芸能を継承するとともに観光等への利活用	35	2	1	6	8	1	0	53

全体的に7地産地消の推進、5農産物の安全・安心に向けた信頼性づくり、2環境に配慮し、創意工夫を發揮した質の高い農産物づくりが多い。

3. 環境評価

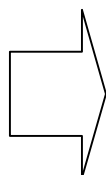
(1) 課題の整理

これまでの現況調査、住民意向のためのアンケート調査の結果を基に、自然環境、社会環境、生産環境に区分して課題の整理を行い、以下に示します。

1) 自然環境について

表 2-66 自然環境の現状・特徴と課題

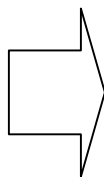
	現状・特徴	課題の整理
現況調査	<p>気 象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平野部の積雪量は少ないが、山間部に入るに従い急激に積雪量が増加する。 <p>地 形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鯖石川、別山川、鵜川の下流域に水田地帯を形成している。 <p>土地利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の66%は森林原野で占められ、12%が耕地、5%は宅地である。 <p>水環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業用水は鯖石川、別山川、鵜川の3水系に依存しているが、最下流域では排水を反復利用するなど全体的に水量が不足している。 <p>植 物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米山山麓にはブナ林を中心とした広葉樹林が発達している。 <p>小動物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水田、ため池、水路などは多様な生物の生息地となっている。 <p>景 観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刈羽三山、日本海をはじめとした親しみのある景観がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地が持つ防災機能の拡充 ・健全な河川や森林機能の保全 ・農地とその周辺における多様な動植物の生息環境の保護 ・優れた自然景観の保全 ・農業農村の利水、水環境の改善 ・農業農村地域における克雪、利雪の取組
住民意向	<p>地域のイメージで、自然の豊かさや農村風景をあげる人が多い。</p> <p>河川、水路の水質浄化。</p> <p>動物の生息地が守られている。</p>	



2) 社会環境について

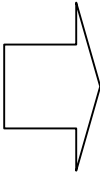
表 2-67 社会環境の現状・特徴と課題

	現状・特徴	課題の整理
現況調査	<p>人 口</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の人口は、中心部は増加しているが全体的に平成7年を頂点に減少化している。 ・人口の高齢化の進行が進んでいる。 ・過疎化、核家族化の進行が進んでいる。 <p>産 業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1次、2次産業の就労者の減少。特に第1次産業就労者は6.1%である。 ・第1次産業の総生産は減少傾向である。 <p>公園・緑地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内には多くの都市公園や農村公園がある。 <p>観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、観光入込客数は横ばい状態である。 <p>文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綾子舞や門出和紙などの文化の継承がされている。 <p>廃棄物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排出量の減量化を目的として資源物やごみの分別収集を積極的に導入している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産者の人口の減少、高齢化への対応 ・農村環境保全に関する都市住民への啓発 ・一部農地における荒廃や廃棄物投棄の防止 ・農業農村地域の歴史文化の継承保存 ・農業農村地域における生活環境及び農業生産環境の向上 ・中山間地域における害虫被害の低減
住民意向	<p>歴史や文化が守られている。</p> <p>文化芸能の継承と観光への利活用</p> <p>環境活動へ参加したい人が80%以上。</p> <p>田舎なので不便を感じる。</p> <p>中山間地域では、害虫の大量発生により被害を受けている。</p>	



3) 生産環境について

表 2-68 生産環境の現状・特徴と課題

	現状・特徴		課題の整理
現況調査	<p>ほ場整備率が県平均より 10%以上、下回っている。 農地の 8 割が水稲稲作地帯である。 農業就業人口の減少 農家所得の低下 特産品は少ないが、市内各地で地場産の野菜などの生産に力を入れている。 利用されていない農地が増加している。 水田などの鳥獣被害が多い</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・農地の健全な保全、優良農地の保全 ・ほ場整備等による優良農地の拡大 ・営農後継者、担い手の確保 ・農業生産者の所得向上 ・生産効率の高い農地基盤整備や技術開発 ・遊休農地の活用推進 ・質の高い地域特産物のブランド化による販売網の拡大 ・無農薬栽培・有機栽培などによる農産物づくりの推進 ・鳥獣被害対策による農作物や農地の保全
住民意向	<p>農業や農地の役割について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物のすみかになる。 ・自然景観や農村景観を保全 ・雨水をためるダムの役割 ・癒しや安らぎの場が多い。 <p>今後の農業や農村への取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の推進 ・安全、安心な農産物作り ・環境に配慮し、質の高い農産物作りが多い。 		

(2) 環境評価

ここでは、環境評価で課題とされた項目を下記のように「保全」、「改善」に分類し、環境評価を行います。環境評価は、課題を解決していくにはどのような手法が望ましいか、その目安を設定するものです。

保全：現在の状況を保全、継続する。

改善：現在より良い状態に改善、修正する。

1) 自然環境

表 2-69 自然環境の環境評価

保全	改善
<ul style="list-style-type: none"> 健全な河川や森林機能の保全 優れた自然景観の保全 	<ul style="list-style-type: none"> 農地が持つ防災機能の拡充 農地とその周辺における多様な動植物の生息環境の保護 農業農村の利水、水環境の改善 農業農村地域における克雪、利雪の取組

2) 社会環境

表 2-70 社会環境の環境評価

保全	改善
<ul style="list-style-type: none"> 農村環境保全に関する都市住民への啓発 農業農村地域の歴史文化の継承保存 	<ul style="list-style-type: none"> 農業生産者の人口の減少、高齢化への対応 一部農地における荒廃や廃棄物投棄の防止 農業農村地域における生活環境及び農業生産環境の向上 中山間地域における害虫被害の低減

3) 生産環境

表 2-71 生産環境の環境評価

保全	改善
<ul style="list-style-type: none"> 農地の健全な保全、優良農地の保全 	<ul style="list-style-type: none"> 営農後継者、担い手の確保 ほ場整備等による優良農地の拡大 農業生産者の所得向上 生産効率の高い農地基盤整備や技術開発 遊休農地の活用推進 質の高い地域特産物のブランド化による販売網の拡大 無農薬栽培・有機栽培などによる農産物づくりの推進 鳥獣被害対策による農作物や農地の保全